

七色の花びらをあしらったシンボルマーク＝浜松市中央区で



浜名湖花博まで1年

シンボル「七色の花びら」

キャラはウグイス妖精「ウグリン」

二〇二四年春の浜名湖花博の開催まであと一年。浜名湖花博二十周年記念事業実行委員会は、シンボルマークとキャラクターを決定した。今月五、六日には、会場となる浜名湖ガーデンパーク（浜松市西区）でプレイベントを実施する。

（山本晃暉）

5、6日「国際庭園」でプレイベント

二十周年事業は、ガーデン（六月二日）と、はままつフラワーパーク（二十四年四月六日）の二会場で開催。コンセプトに「人・自然・テクノロジーの架け橋」レイクハマナ デジタル田園都市」を掲げ、デジタル技術を活用した展示を進める。シンボルマークは七色の花びらが並んだデザインで、静岡文化芸術大デザイン学科の和田美教授が手がけた。キャラクターには、市の鳥であるウグイスの妖精「ウグリン」が誕生した。ガーデンパークのキャラクター「のたね」の資料。



記念事業キャラクターの「ウグリン」

だちとして、記念事業をもに盛り上げていく。

「緑の魔法使い」という異名を持つ庭園デザイナー、石原和幸さんが手がける記念庭園も目玉事業の一つ。会場に整備する多彩な庭園の植栽には、準備段階から県民が参加できる機会を設ける。

五、六日のプレイベントは、ガーデンパークの国際庭園エリアで開催。日中韓の食文化を体験してもらおうと、地元食材を使用した浜松パワーフード学会による「どうした？家康 三方ヶ原の戦弁当」、中国の点心、韓国のヤンニョムチキンなどを販売する。入場無料。